

# 同心

DOHSIN

2007 13号

クリニックだより

発行者

医療法人 いしぐろクリニック

金沢市窪4丁目515番地

TEL (076) 243-2500

編集責任者

石黒 修三

同心の由来

病いを持つひと、癒すひと。同じ心でいたいものとの願いからつけました。

## 新しく MRIの器械を 入れました

いしぐろクリニックも、今年はおオープンしてから15年目を迎えます。これまで以上に「病気の早期発見、早期治療」に力を入れたいものです。

例えばアルツハイマー病。たいていの場合、「なんか様子がへん」と家族に連れてこられた時はもう遅いのです。漠然とでも不安を感じたような時、怖がらずに脳の検査を受けるようにしてもらいたいものです。ちよつと脳が疲れているだけということもあります。意外や、脳の血管のキズが見付かることもあります。最悪、アルツハイマー病であっても、ごく初期な

ら進行を抑える薬も効きます。さらに頑張りたいと思うのは、「発病する前に病気を見付けること」です。これからは、本格的に「脳ドック」や「脊椎ドック」に



取り組みます。そのため昨年暮れにクリニックを増築し、新たに最新式のオープン型MRI装置を導入しました。オープン型ですから、高齢の方や子供さんに使いや

すくなりました。短時間できれいなMRA（血管撮影）の写真が撮れます。頸椎や腰椎はもちろん、肩や膝など、これまで撮影に時間がかかった部位も簡単に検査できるようにになりました。

多くの患者さんは、不安を抱えて受診されます。大病院みたいに、精密検査は予約で2、3週間後などというのではたまりません。大病院と同じ精密検査を、受診されたその日のうちに行い、検査結果を説明します。これまでの装置と合わせ、2台のMRI装置を動かして検査していきます。そのため今回、レントゲン技師も一人増員しました。金沢大学附属病院で、長く脳神経関係の仕事していた優秀な技師です。乞うご期待。

(院長)

## 健語会セミナー

5月21日、河内千丈温泉清流にてセミナーが開催されました。講演は、明祥株式会社の方による「最近のお薬のよもやま話」ということで、主にジェネリック薬品についての話がありました。メ



時の審査があまかったり、まだまだ問題点はあるようです。ただ価格が安いからと安易にジェネリック薬品に変えるのはどうかと思われました。講演の後は、好天の中、恒例のバーベキューが行われ、おいしいお肉、お魚でお腹も満たされ、楽しいひと時を過ごしました。

10月14日は、山中温泉河鹿荘口イヤルホテルにて総会が行われました。講演は金沢大学附属病院集中治療部 伊藤博先生による

「移植医療の最前線、脳死から臓器移植まで」でした。専門的な話でちょっと難しいかなーと思いましたが、日本の脳死移植の現状を目の当たりにして、ドナー登録しようかなと思った人も多いのではないでしょうか。

「健語会」では医療に関する講演や、普段は打ち解けて話せない石黒先生との交流があります。参加してみたいと思う方は、クリニック受付までご連絡下さい。

## 大変迷惑しています

昨年暮れ、MROテレビがスクープした金沢のグループホームの医療費不正請求事件。疑いが持たれているのは、加賀市で開業している「いしぐろクリニック」の院長石黒某です。が、

不思議な請求書が送られてきたことや、買いたくない日用品が配達されたりとさんざん迷惑をこうむってきました。それが、二人は兄弟だろうとかグループでやっているのだろうとか、とんでもない噂を流すひとがいたりして、もう最悪。私を少しでも知っているひとに聞きます。私は、そんな悪いことができる医者にはみえますか？

## 禁煙外禁

禁煙治療が平成18年6月から保険適用になりました。喫煙習慣の本質はニコチン依存症です。治療を始めるにあたり、一番大事なことは本人のタバコを止めようとする意思です。意思が固まったら、周りの人に宣言しましょう。そして、ニコチン中毒から抜け出さな

めにニコチンパッチによる治療が必要になります。

禁煙によるメリットは大きく、肺がん、心臓病、動脈硬化、子供の喘息など病気のリスクが下がりますし、周囲への迷惑もなくなります。環境が良くなります。

禁煙してみようかなーと思ったら、一度チャレンジしてみましよう。

時計のない  
空間で

# 遊びませんか

白山市吉野谷の山に小さな家を書いて、「非思量庵」という名前をつけました。仕事の疲れやストレスが溜まっていやーになっていくひと。心配事はどうしていいかわからなくなっているひと。ただ、ちよつとだけ気分転換したいと思っっているひと。私たちとゆっくり話をしたいというひととも大歓迎です。4月、11月の週末、静かな山の中できれいな空気を吸いながら時間をすごしてみませんか。宿泊可、費用はかかりませんが、禁酒禁煙は守ってもらいます。希望



者は、クリニック受付まで。

## マッサージ？

### その前に

「肩が凝る」「ひざが痛い」「腰が痛い」からマッサージをしてほしいとよく言われます。何か異常があつてのこともあるので、まず検査が必要になります。結果により、治療の必要な人もいますが、

でも大概の人は特別に異常がなく、簡単な体操や、注意点を守ることで改善することが多いのです。「肩が凝る」人は頸椎に変形のある人が多いです。40歳を過ぎたら、首を曲げる体操はやめたり、

飛んだり跳ねたりの運動を避けましょう。そして肩は大きく回したり、上下に動かしたりして筋肉をほぐしましょう。「ひざが痛い」人は、体重を減らし、足上げ体操やウォーキングで、太ももの筋肉を鍛えましょう。「腰が痛い」人は、急性の症状がなくなつたら、腹筋・背筋を鍛えていきましょう。マッサージに頼らず自分で出来ることは率先して行えば、通う手

間も省け、お金もかかりません。※検査で異常のある方は相談の上、実施してください。

### 診察に来るときは

● 保険証（前期高齢者受給者証、老人受給者証をお持ちの方は一緒に）、現在内服中の薬がある人は、薬の名前がわかるものを持って来て下さい。

● 診察がスムーズにいくように、診察してほしいこと、確認したいこと、聞いておきたいことは、まとめておいて下さい。こんな検査をしてほしい、こんな症状を診てほしい、他の病院の治療が納得いかない、などお気軽にご相談下さい。先生に聞きたいけど聞きにくい場合は、他のスタッフが対応しますので、御遠慮なく申しつけて下さい。

● クリニックでは、症状にあわせていろいろな検査があります。華美な装飾品は控え、着脱しやすい服装にしましょう。

# 移植医療の最前線

～脳死から臓器移植まで～

金沢大学医学部附属病院 救急部・集中治療部 伊藤 博

脳死とは、呼吸・循環機能の調節や意識の伝達など、生きていくために必要な働きを司る脳幹を含む、脳全体の機能が失われた状態である。植物状態は、脳幹の機能が残っていて、自ら呼吸できる場合が多く、回復する可能性があり、脳死とは根本的に全く違うもので

ある。人の体は、日常の生活の中で機能が低下したり、事故や病気で機能を失うことがある。機能の低下を補うものとして、身近には眼鏡や入れ歯などがあるが、臓器が一旦その機能を失うと薬剤や機械で代替することは大変難しい。臓器移植とは、心臓、肝臓、肺、腎

臓などの臓器が機能しなくなり、移植でしか治療できない方と死後に臓器を提供してもいいという方とを結ぶ医療である。医療技術や医薬品だけではなく、皆さんの善意による臓器の提供がなければ成り立たない医療である。日本で事故や病気で亡くなる人は毎年約90万人いる。その1%弱、約7千人が脳死になって亡くなるといわれている。自分が脳死になって最期を迎えた時に誰かの命を救うことができる、それが臓器提供「いのちの贈り物」である。1997年

10月16日に臓器移植法が施行され、日本でも脳死での臓器移植が始まった。脳死での臓器の提供には、書面による生前の意思表示と家族の承諾が必要であり、これからの移植医療が本格的に歩み始めるためには、多くの方々が意思表示カード・シールに署名し、携帯していただくことが必要である。日本の移植について振り返り、現状を理解しながら、これから歩むべき道について一緒に考えていただきたいと思います。

## お知らせ

・検査希望の場合は、午前は11時まで、午後は5時までに受付をしてください。混み合っている場合は予約となります。金・土曜日は大変混みます。

・脳ドックの予約は随時行っております。電話にて申し込んでください。

・診療時間外は、看護師の電話対応となります。緊急の方はクリニック

TEL 243-2500  
まで電話して下さい。

診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30~12:30	○	○	○	○	○	○
14:00~18:00	○	○	○	休	○	休

火曜の午後：金沢大学附属病院  
脳神経外科医の診察

日・祝日：休診

## 編集後記

新しいMRIに、スタッフも充実し、これからもますます、皆様の御期待に応えられるよう、がんばりたいと思います。ご意見、ご要望は何なりとお伝え下さい。